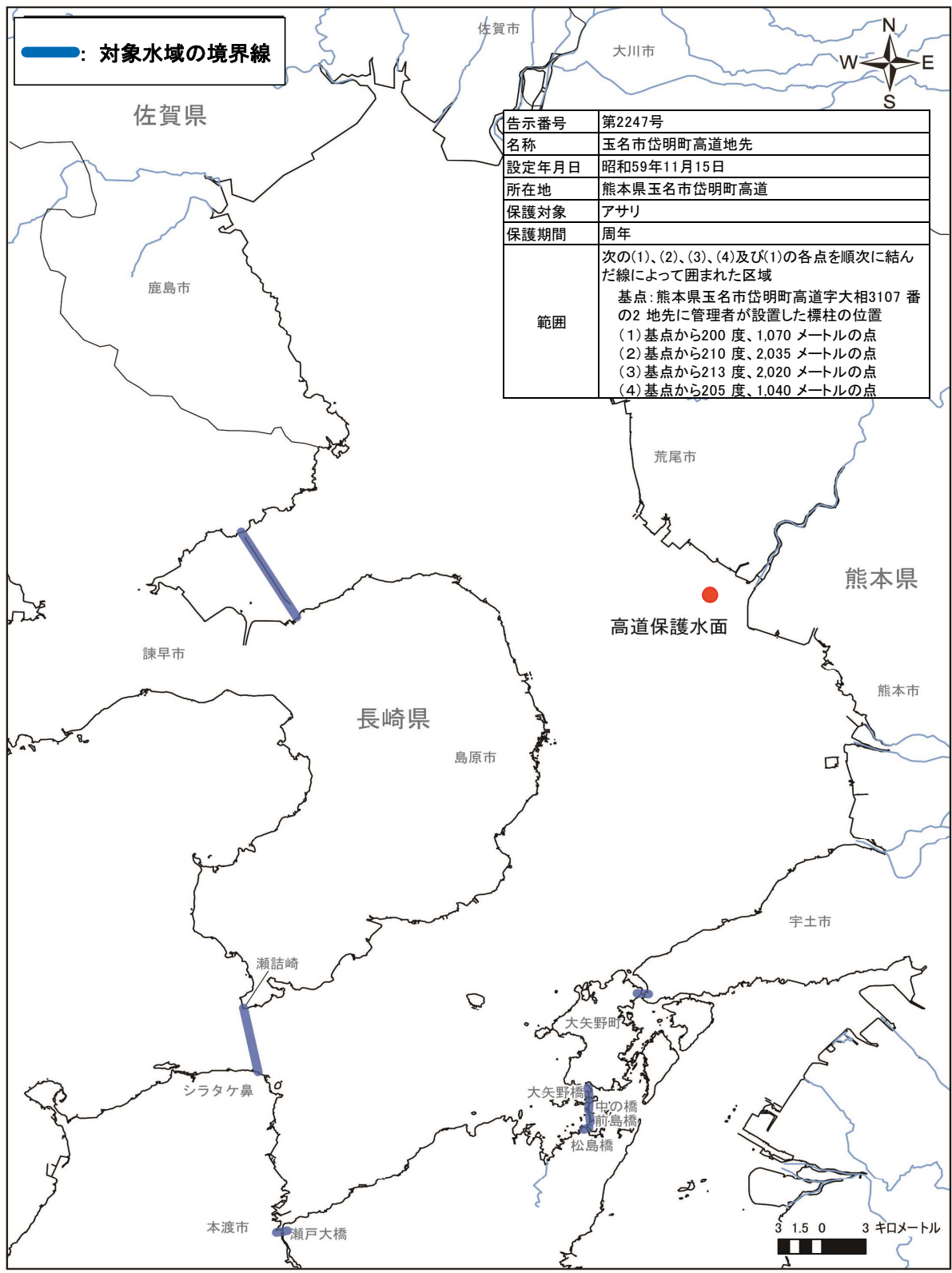


〔有明海〕底質分布図

出典：東 幹夫（2000）：諫早湾干拓事業の影響  
（有明海の生きものたち（佐藤正典編）より作成

注）極細粒砂：2～1mm、粗粒砂：1～1/2mm、中粒砂：1/2～1/4mm、細粒砂：1/4～1/8mm

図3 底質の分布状況



出典：水産庁資料  
平成28年熊本県の水産

図4(1) 水産資源保護法に基づく保護水面

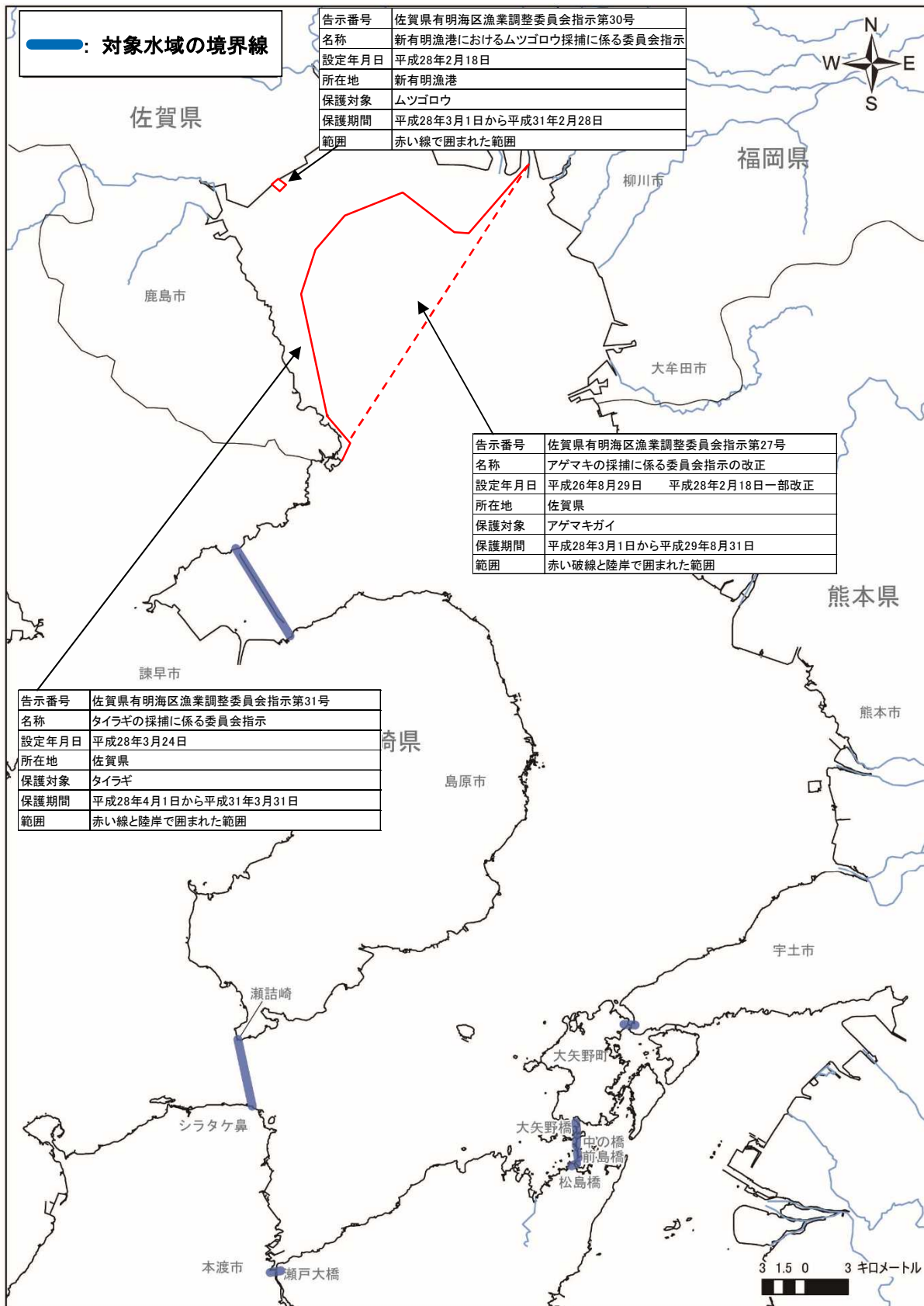


図 4 (2) 規則・条例に基づく保護水面



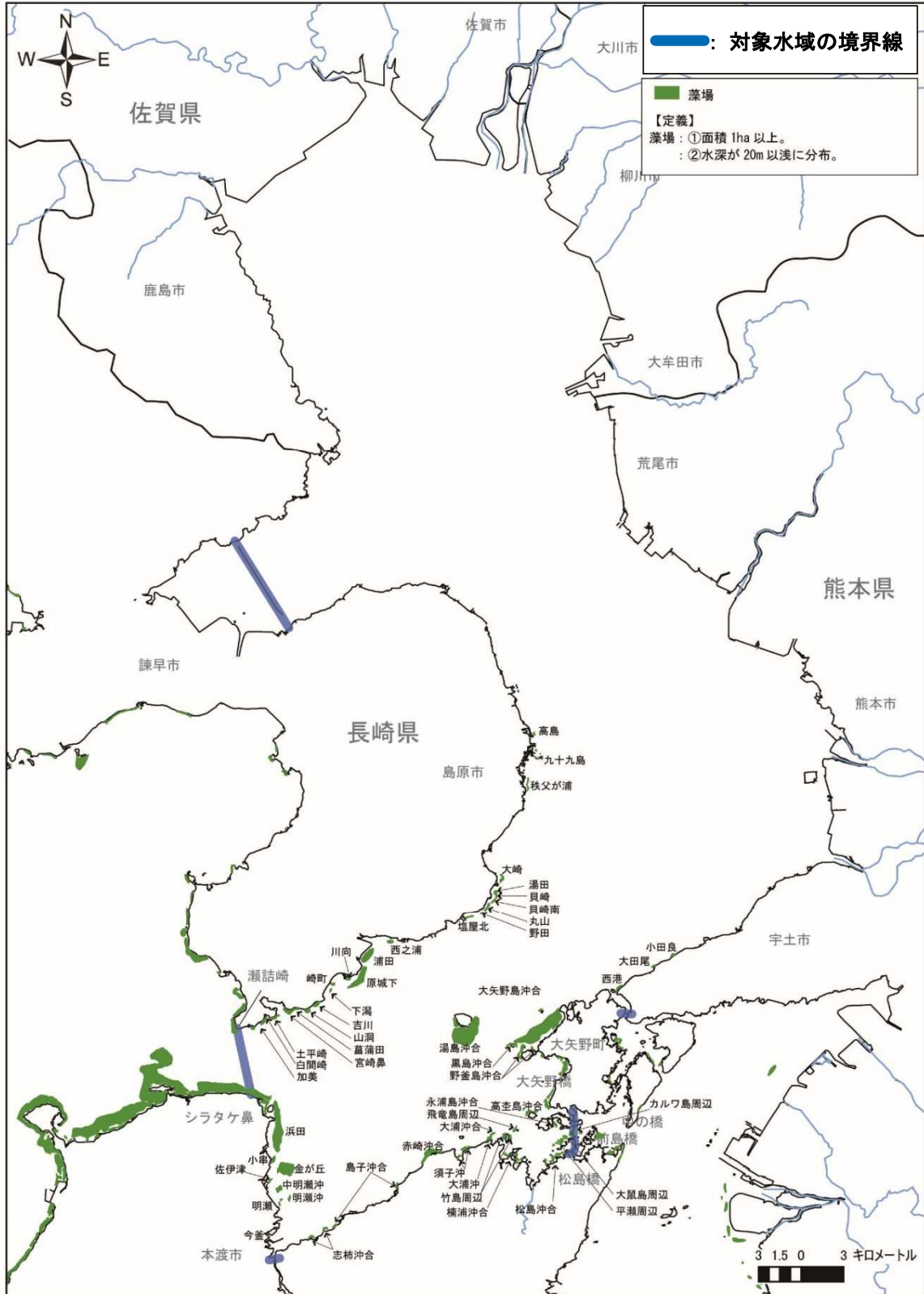
〔有明海〕干潟の分布状況

出典：環境省第5回自然環境保全基礎調査  
(平成9～13年度)

図5 主要な干潟の分布状況

諫早湾潮受堤防の設置により、同堤防と陸岸で囲まれた水域はH21.1.16付の告示で国が類型指定する海域から除外されたため、同水域の干潟については図示していない。





〔有明海〕藻場の分布状況 出典：環境省 第5回自然環境保全基礎調査（平成9～13年度）

図6 主要な藻場の分布状況

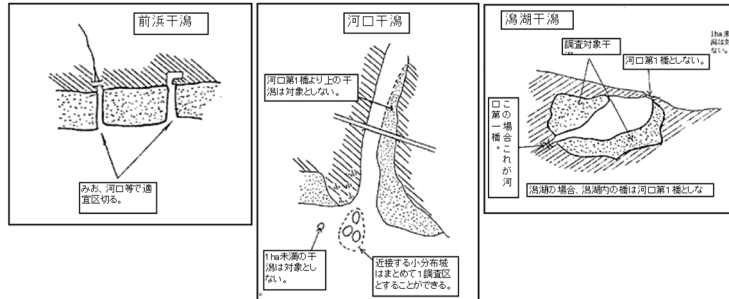
表 2(1) 主要な干潟の概要

対象海域 名称	都道府県	干潟名称	干潟タイプ					底質				面積 (ha)
			前浜	河口	潟湖	人工 干潟	その他	礫	砂	砂泥	泥	
有明海	福岡県	昭代開地崎		○							○	218
有明海	福岡県	橋本開地崎	○							○		856.6
有明海	福岡県	大和干拓地崎	○							○	○	697.9
有明海	福岡県	三池干拓地崎	○								○	369.8
有明海	福岡県	諏訪川河口		○							○	48
有明海	福岡県	三池海岸	○						○			33.9
有明海	佐賀県	大詫間		○							○	610.4
有明海	佐賀県	大詫間		○							○	383.2
有明海	佐賀県	大詫間		○							○	256
有明海	佐賀県	大詫間		○							○	57.1
有明海	佐賀県	大詫間		○							○	141.9
有明海	佐賀県	大詫間		○							○	290.8
有明海	佐賀県	大詫間		○							○	311.3
有明海	佐賀県	大詫間	○								○	424
有明海	佐賀県	国造干拓		○							○	1026.5
有明海	佐賀県	西川副干拓	○								○	1147.5
有明海	佐賀県	久保田干拓	○								○	255.6
有明海	佐賀県	社擲		○							○	12.1
有明海	佐賀県	有明干拓	○								○	1512.8
有明海	佐賀県	有明干拓	○								○	260.1
有明海	佐賀県	宝島		○							○	17.6
有明海	佐賀県	三部干拓	○								○	72.2
有明海	佐賀県	重ノ木		○							○	3
有明海	佐賀県	浜干拓	○								○	328
有明海	佐賀県	三部干拓		○							○	380.5
有明海	佐賀県	七浦	○								○	1378.6
有明海	佐賀県	油津	○								○	106.5
有明海	佐賀県	糸岐	○								○	139.8
有明海	佐賀県	大浦	○								○	19.5
有明海	佐賀県	道越	○								○	16.4
有明海	佐賀県	竹崎		○							○	24.5
有明海	佐賀県	牟田		○							○	7.7
有明海	長崎県	長浜	○								○	25.6
有明海	長崎県	川東	○					○			○	51.9
有明海	長崎県	港町大原～洗切～三会町	○								○	212.3
有明海	長崎県	大手原町～高島町	○								○	83.7
有明海	長崎県	九十九島1	○					○		○		18.1
有明海	長崎県	九十九島2	○					○		○		5.4
有明海	長崎県	九十九島3	○					○		○		3.1
有明海	長崎県	九十九島4	○					○		○		1.2
有明海	長崎県	赤禿	○					○		○		1.8
有明海	長崎県	船泊		○				○		○		8.7
有明海	長崎県	浜ノ町～船川	○	○							○	49.1
有明海	長崎県	須ノ崎	○	○							○	5.6
有明海	長崎県	高塩大崎	○	○							○	49.3
有明海	長崎県	湯田高砂	○	○							○	62
有明海	長崎県	池田	○	○							○	20.4
有明海	長崎県	小川名	○	○							○	42.2
有明海	長崎県	中州川浜	○	○							○	18.7
有明海	長崎県	須川1		○							○	8.7
有明海	長崎県	須川2		○							○	0.8
有明海	長崎県	西之浦		○							○	39.1
有明海	長崎県	田平		○							○	35.2
有明海	長崎県	浦田名		○							○	39.7
有明海	長崎県	川向		○							○	10.4
有明海	長崎県	釜		○							○	13.1
有明海	長崎県	井崎		○							○	30
有明海	長崎県	長門1		○							○	4.9
有明海	長崎県	長門2		○							○	9.3
有明海	長崎県	丸尾～金崎		○							○	78.3
有明海	長崎県	泉		○							○	49.3
有明海	長崎県	牛口3		○							○	17.1
有明海	長崎県	牛口4		○							○	8.5
有明海	長崎県	道祖崎		○							○	22.7
有明海	長崎県	上高田		○							○	30.8
有明海	長崎県	下高田1		○							○	7.3
有明海	長崎県	下高田2		○							○	4.2
有明海	長崎県	下伊古		○							○	25.6
有明海	長崎県	南大泊	○								○	1.9
有明海	長崎県	栄町1		○							○	1.5

表 2(2) 主要な干潟の概要

対象海域 名称	都道府県	干潟名称	干潟タイプ					底質				面積 (ha)
			前浜	河口	潟湖	人工 干潟	その他	礫	砂	砂泥	泥	
有明海	長崎県	栄町2		○							○	2.1
有明海	長崎県	栄町3		○							○	2.1
有明海	長崎県	港町1		○							○	1.5
有明海	長崎県	港町2		○							○	1
有明海	長崎県	菖蒲田		○							○	29.2
有明海	長崎県	崎町		○							○	11
有明海	長崎県	大江名1		○							○	22.7
有明海	長崎県	大江名2		○							○	3.5
有明海	長崎県	沖ノ島		○							○	13.8
有明海	熊本県	本渡港	○								○	14.4
有明海	熊本県	大矢崎	○					○	○			6.4
有明海	熊本県	茂木根崎	○					○	○	○		6.2
有明海	熊本県	御領	○					○	○			9.1
有明海	熊本県	亀島	○					○	○			28.6
有明海	熊本県	大間崎	○					○	○	○		8.7
有明海	熊本県	竹島	○					○	○	○		14.1
有明海	熊本県	大浦	○					○	○	○		18
有明海	熊本県	蛤里		○				○	○	○		13.8
有明海	熊本県	水車	○					○	○	○		12.7
有明海	熊本県	水車	○					○	○	○		2.1
有明海	熊本県	飛竜島	○					○	○	○		7.7
有明海	熊本県	池島の瀬戸	○					○	○			6.1
有明海	熊本県	永浦島	○					○	○	○		3.7
有明海	熊本県	新開	○					○	○	○		12.3
有明海	熊本県	江橋戸	○					○	○			15.1
有明海	熊本県	諏訪原	○					○	○			19.4
有明海	熊本県	串	○					○	○	○		6.8
有明海	熊本県	串	○					○	○		○	5.3
有明海	熊本県	白	○					○	○			14.7
有明海	熊本県	太田尾	○						○			11
有明海	熊本県	赤瀬	○							○		8.5
有明海	熊本県	赤瀬	○					○				1.4
有明海	熊本県	長浜	○							○		898.6
有明海	熊本県	住吉		○						○		155.9
有明海	熊本県	網津		○						○		447.9
有明海	熊本県	学科		○						○		364.4
有明海	熊本県	海路口	○							○		108.6
有明海	熊本県	海路口	○								○	438
有明海	熊本県	学科		○						○		74.1
有明海	熊本県	畠口		○						○		49.2
有明海	熊本県	沖新	○							○		382.8
有明海	熊本県	畠口		○						○		4.8
有明海	熊本県	新地		○						○		1
有明海	熊本県	新地		○						○		1.1
有明海	熊本県	新地		○						○		1
有明海	熊本県	新地	○							○		409
有明海	熊本県	百貴		○							○	2.6
有明海	熊本県	百貴		○							○	8.5
有明海	熊本県	湯ノ谷		○							○	1
有明海	熊本県	近津	○								○	106.9
有明海	熊本県	温泉	○								○	21.5
有明海	熊本県	白浜	○							○		135.6
有明海	熊本県	高道	○							○		167.4
有明海	熊本県	鍋	○							○		188.2
有明海	熊本県	受免		○							○	3.6
有明海	熊本県	大豊		○							○	11.1
有明海	熊本県	明豊	○							○		80.8
有明海	熊本県	明	○								○	20.5
有明海	熊本県	不明	○							○		15.1
有明海	熊本県	大浜		○						○		194
有明海	熊本県	滑石		○						○		204.1
有明海	熊本県	滑石	○								○	49.5
有明海	熊本県	高道	○							○		5.5
有明海	熊本県	荒尾	○							○		1587.4
有明海	熊本県	四山	○								○	62.9
合計											19040.9	

- 注1) 対象干潟 ・高潮線と低潮線に挟まれた干出域の最大幅が100m以上であること。  
 ・大潮時の連続した干出域の面積が1ha以上であること。  
 ・移動しやすい底質(砂、礫、砂泥、泥)であること。
- 注2) 干潟タイプ 下図のとおり前浜干潟、河口干潟、潟湖干潟及びその他(人工干潟等)に分類される。
- 注3) 調査区設定方法  
 現在干潟の調査区設定・面積等の把握の際には、原則同タイプの干潟が連続的に分布する範囲(分布域)を1調査区とする。ただし、分布域が長大な場合は河口、みお、航路、岬角等の地形で適宜区分することができる。各タイプの調査区設定は区分基準(下図のカッコ内)に準ずる。



- 注4) 底質: 礫: 粒径2mm以上  
 砂: 0.1~2mm  
 泥: 0.1mm以下  
 砂泥: 砂と泥の混合

出典: 環境省 (第5回自然環境保全基礎調査 平成9~13年度)

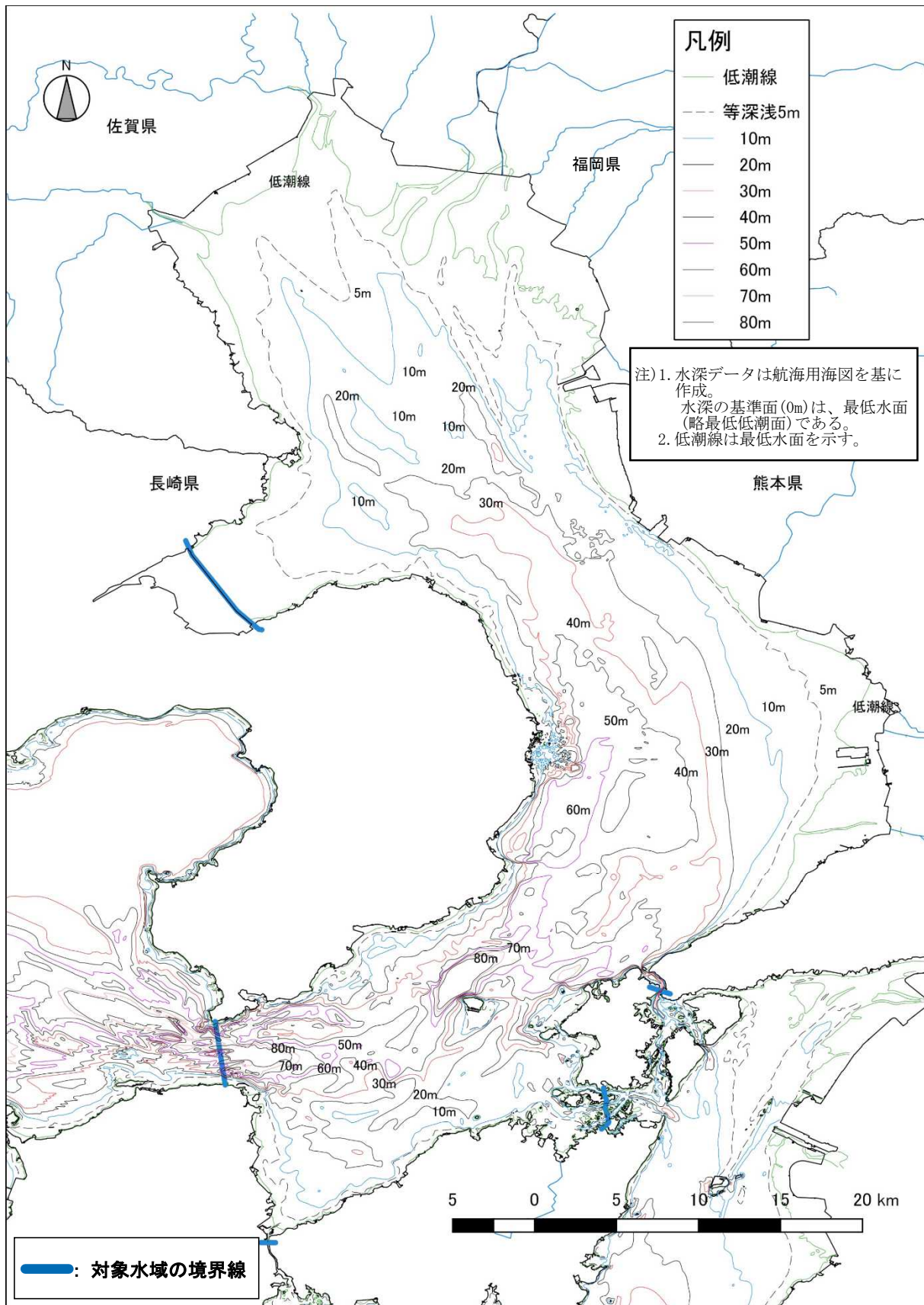


表3 主要な藻場の概要

対象海域名称	都道府県	藻場名称	藻場タイプ							疎密度	面積 (ha)	
			アマモ場	ガラモ場	コンブ場	アラメ場	ワカメ場	テングサ場	アオサ・アオリ場			その他
有明海	長崎県	高島	○								密生	2.6
有明海	長崎県	九十九島		○							疎生	4.3
有明海	長崎県	秩父が浦		○							疎生	5.4
有明海	長崎県	大崎		○							疎生	7.3
有明海	長崎県	湯田	○								濃生	5.7
有明海	長崎県	貝崎		○							疎生	2.1
有明海	長崎県	貝崎南	○								密生	4
有明海	長崎県	丸山		○							疎生	7.3
有明海	長崎県	野田	○								密生	1.9
有明海	長崎県	塩屋北	○								密生	3.8
有明海	長崎県	西之浦		○							疎生	7.5
有明海	長崎県	浦田	○								疎生	41.2
有明海	長崎県	原城下		○							疎生	61.4
有明海	長崎県	川向	○								疎生	3.5
有明海	長崎県	崎町		○		○					疎生	3.4
有明海	長崎県	下潟		○							疎生	2.1
有明海	長崎県	吉川	○								密生	8.4
有明海	長崎県	山洞		○		○					密生	7.9
有明海	長崎県	菖蒲田	○								疎生	3.9
有明海	長崎県	宮崎鼻		○		○					疎生	12.5
有明海	長崎県	土平崎		○		○					疎生	5.5
有明海	長崎県	白間崎	○								濃生	1.8
有明海	長崎県	加美		○		○					疎生	7.2
有明海	熊本県	明瀬	○						○		疎生	2.5
有明海	熊本県	明瀬沖	○								疎生	3.9
有明海	熊本県	中明瀬沖	○	○							疎生	11.9
有明海	熊本県	佐伊津	○								疎生	2.3
有明海	熊本県	金が丘		○							疎生	80.9
有明海	熊本県	今釜							○		疎生	1.4
有明海	熊本県	志柿沖合		○				○			密生	4.2
有明海	熊本県	志柿沖合		○				○			密生	4.9
有明海	熊本県	島子沖合		○				○			密生	3.8
有明海	熊本県	島子沖合		○			○	○			密生	3.6
有明海	熊本県	浜田	○	○							疎生	150
有明海	熊本県	小串	○	○							疎生	8.2
有明海	熊本県	赤崎沖合		○			○	○			密生	40.6
有明海	熊本県	須子沖		○				○			密生	3
有明海	熊本県	須子沖		○				○			密生	4.8
有明海	熊本県	須子沖		○				○			密生	1.5
有明海	熊本県	大浦沖		○				○			密生	7.4
有明海	熊本県	大浦沖合		○				○			疎生	2.8
有明海	熊本県	竹島周辺		○					○		疎生	6.1
有明海	熊本県	楠浦沖合	○	○							密生	5
有明海	熊本県	飛竜島周辺		○			○				密生	4.2
有明海	熊本県	竹島周辺	○	○							密生	4
有明海	熊本県	楠浦沖合	○	○				○			密生	9.9
有明海	熊本県	高奈島沖合		○				○			密生	7.5
有明海	熊本県	永浦島沖合	○	○							疎生	3.4
有明海	熊本県	大矢野島沖合		○				○			密生	12.2
有明海	熊本県	大矢野島沖合		○				○			密生	6.7
有明海	熊本県	大矢野島沖合	○	○				○			密生	24
有明海	熊本県	大矢野島沖合		○				○	○		密生	6
有明海	熊本県	大矢野島沖合		○				○	○		密生	1.8
有明海	熊本県	野釜島沖合		○				○			密生	1.7
有明海	熊本県	野釜島沖合		○				○			密生	10.1
有明海	熊本県	松島沖合	○	○							密生	11.3
有明海	熊本県	松島沖合	○	○							密生	6
有明海	熊本県	平瀬周辺	○	○							密生	10.8
有明海	熊本県	大嵐島周辺	○	○							密生	7.3
有明海	熊本県	カルワ島周辺	○	○							密生	4
有明海	熊本県	湯島沖合		○				○	○		密生	179
有明海	熊本県	黒島沖合		○				○	○		密生	8.9
有明海	熊本県	大矢野島沖合		○				○			疎生	259.7
有明海	熊本県	大矢野島沖合		○				○			密生	1.9
有明海	熊本県	西港		○							密生	6.4
有明海	熊本県	太田尾		○							密生	2.7
有明海	熊本県	小田良		○							密生	3.6
合計											1,152.6	

- 注1)対象藻場      ・面積が1ha以上であること。  
                          ・水深が10m以浅に分布すること。
- 注2)藻場タイプ    アマモ場:アマモ、コアマモ等が代表種(優占種)となっている藻場。  
                          ガラモ場:ホンダワラ類・ウミトラノオ等が代表種(優占種)となっている藻場。  
                          アラメ場:アラメ・カジメ・クロメ等が代表種(優占種)となっている藻場。  
                          ワカメ場:ワカメ・ヒロメ等が代表種(優占種)となっている藻場。
- 注3)疎密度:        濃生:海底面がほとんど植生で覆われている。  
                          密生:海底面より植生の方が多い。  
                          疎生:植生より海底面の方が多い。

出典:環境省 (第5回自然環境保全基礎調査 平成9~13年度)

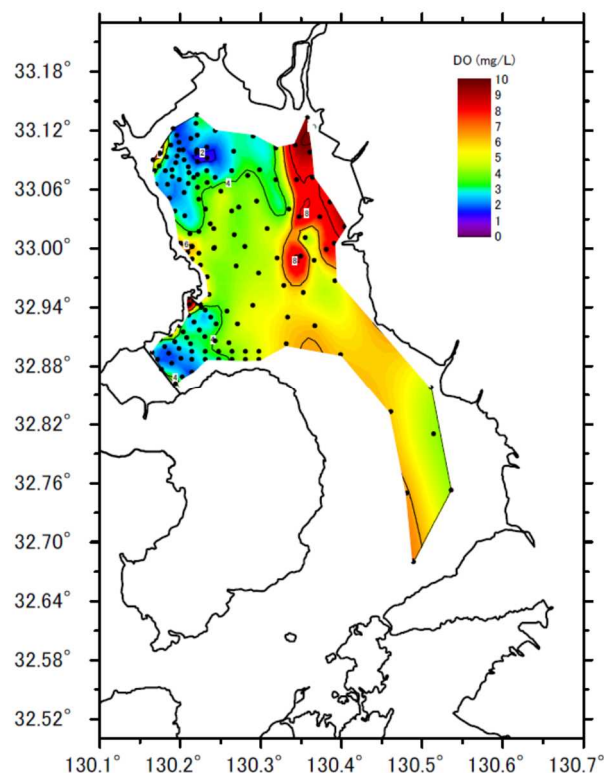
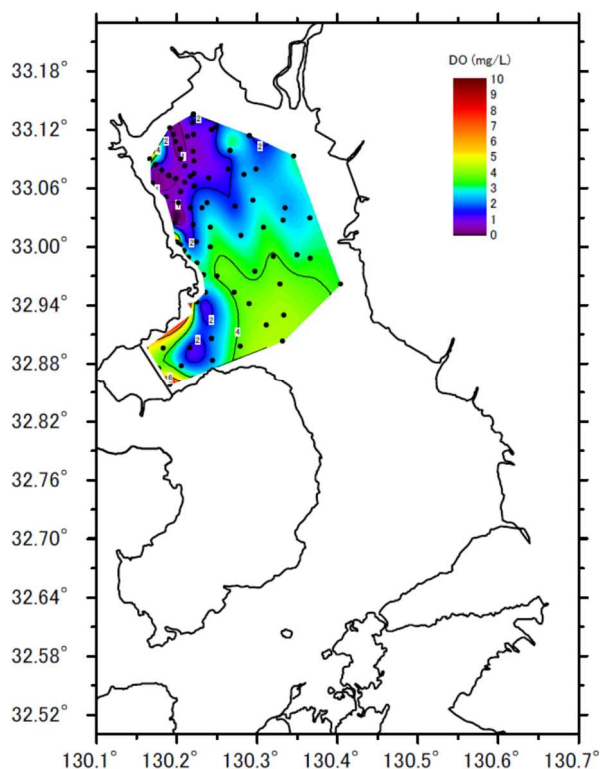


出典：海上保安庁海洋情報部・航海用電子海図

図7 主な浅場

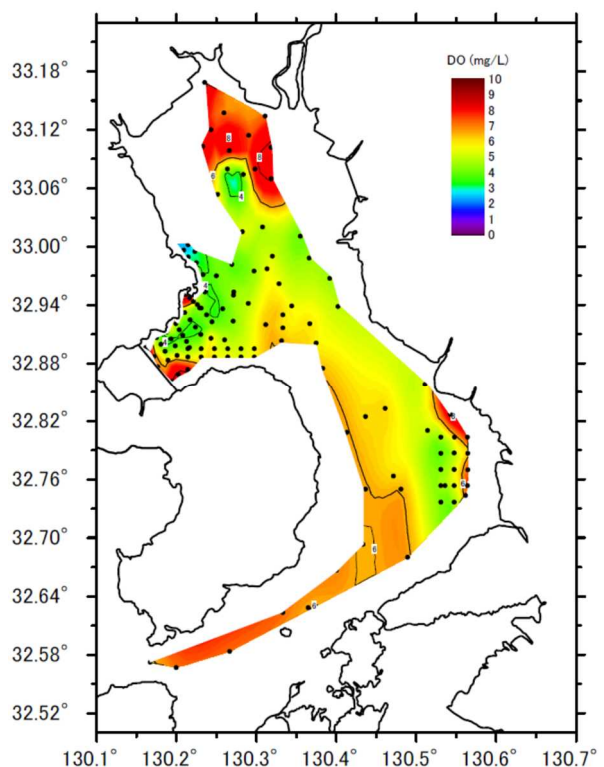
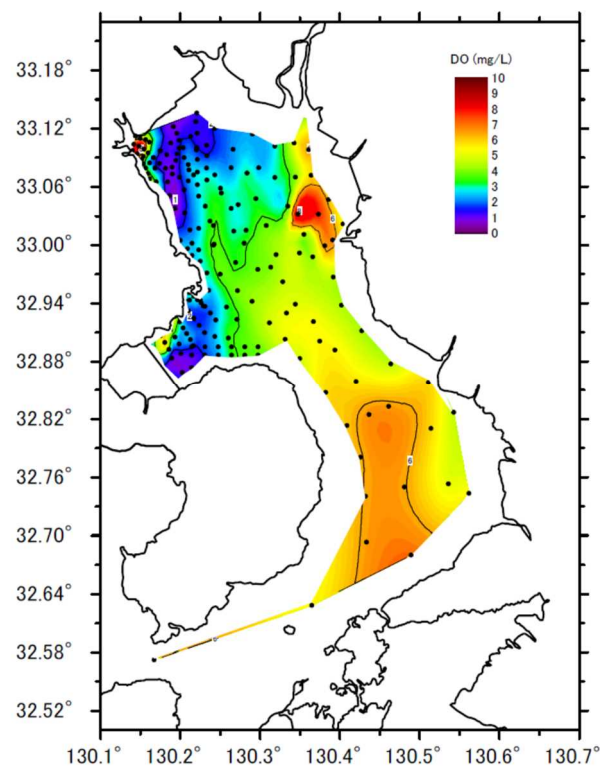
2010年(平成22年)8月4日

2011年(平成23年)7月25日



2012年(平成24年)8月10日

2013年(平成25年)8月1日



出典：西海区水産研究所【有明海一斉観測時における底層溶存酸素量 海底上0.1m】

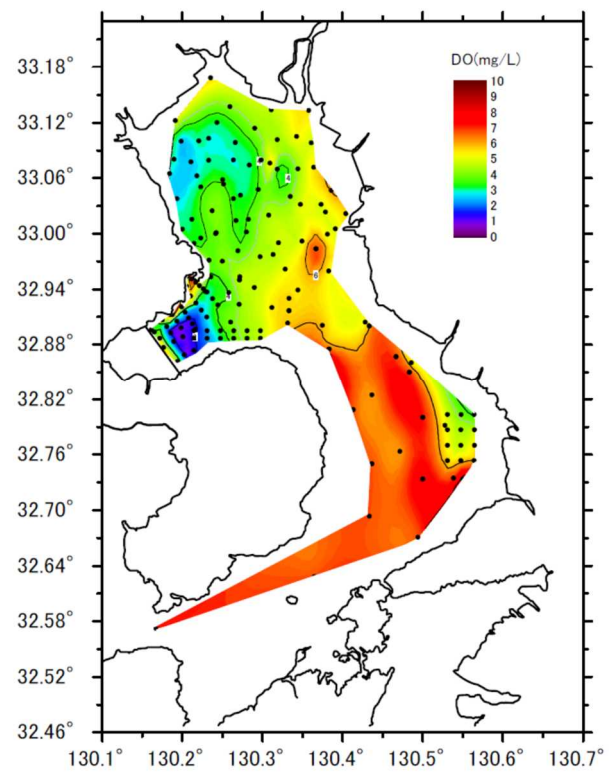
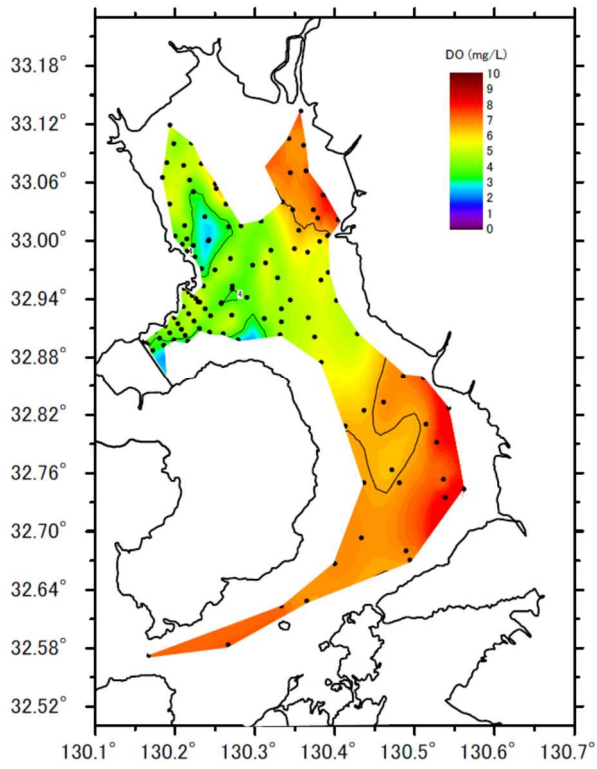
図8(1) 夏季底層溶存酸素量の分布状況

有明海一斉観測参加機関：国立研究開発法人 水産研究・教育機構 西海区水産研究所、農林水産省九州農政局、国土交通省熊本港湾・空港整備事務所、福岡県水産海洋技術センター有明海研究所、佐賀県有明水産振興センター、長崎県総合水産試験場、長崎県県南水産業普及センター、熊本県水産研究センター、熊本県環境保全課、熊本県保健環境科学研究所、九州大学、佐賀大学低平地沿岸海域研究センター、熊本大学、日本ミクニヤ(株)、芙蓉海洋開発(株)、東京久栄(株)、(株)西村商会

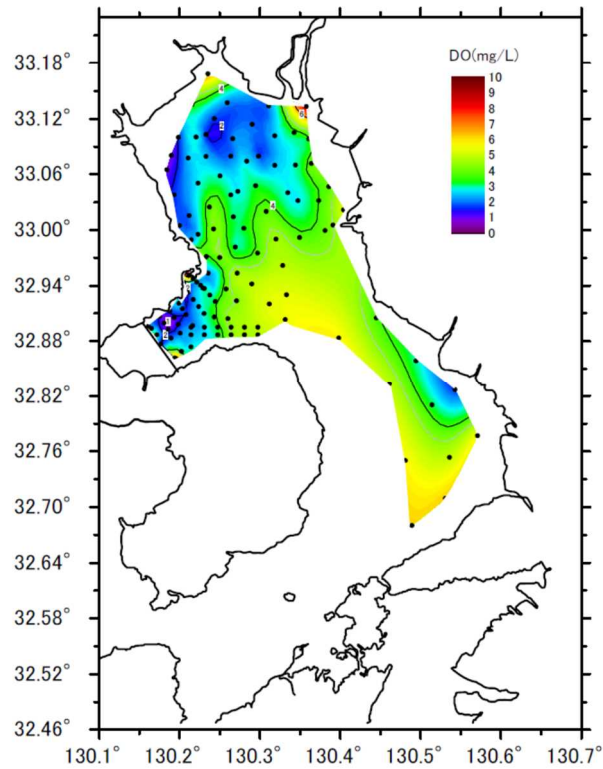


2014年（平成26年）8月5日

2015年（平成27年）8月7日



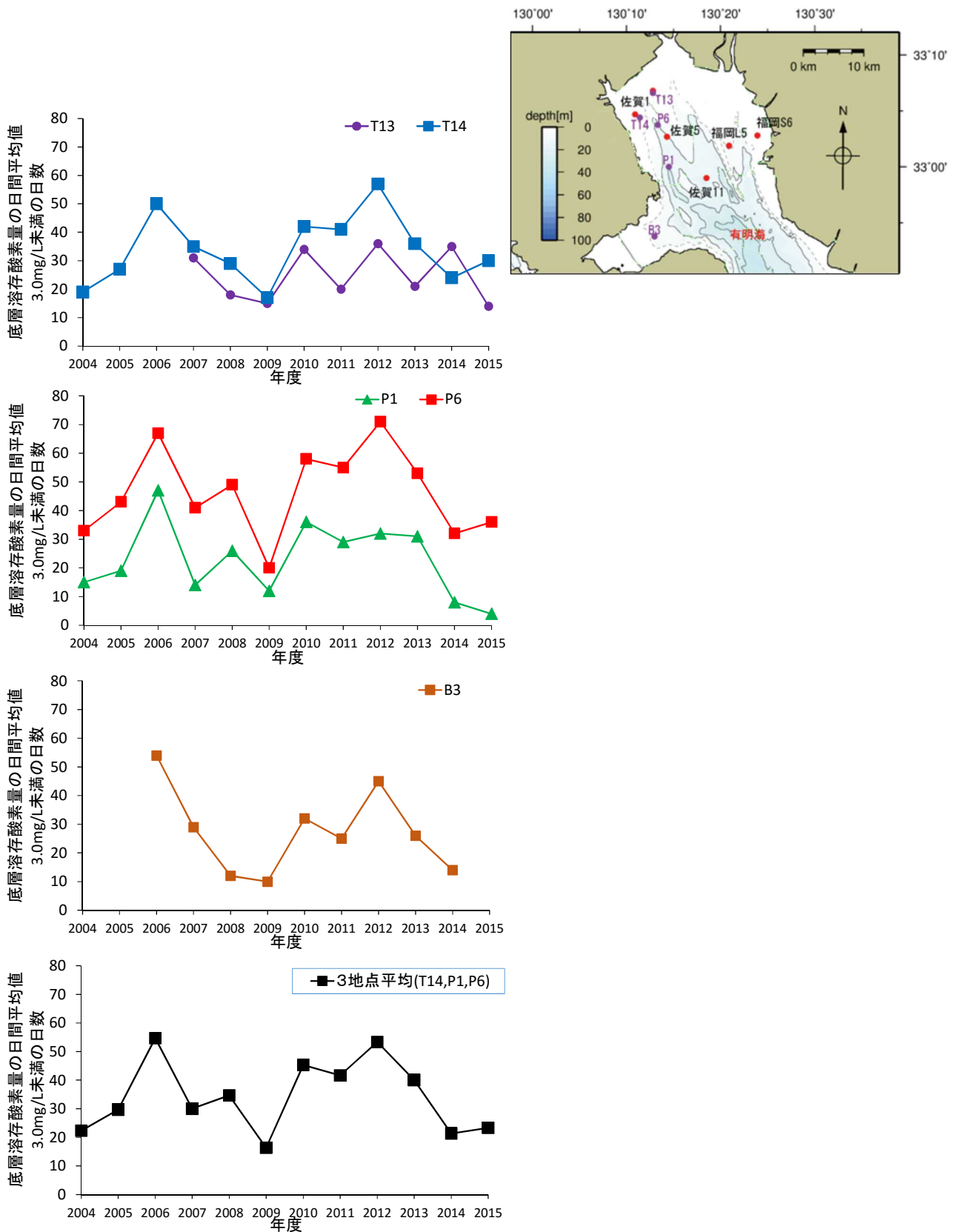
2016年（平成28年）8月12日



出典：西海区水産研究所【有明海一斉観測時における底層溶存酸素量 海底上0.1m】

図8(2) 夏季底層溶存酸素量の分布状況





注) 各年度、各地点の底層溶存酸素量の日平均値が 3.0mg/L 未満となった日数を記載している。なお、観測期間は 6～9 月を中心に行われており、詳細な観測日数は各年度、各地点により異なる。

図 9 各期間の底層溶存酸素量の日平均値 (3.0mg/L 未満) の状況 (連続観測調査)

出典：有明海・八代海等総合調査評価委員会 (有明海・八代海等総合調査評価委員会報告 平成 29 年 3 月)